

# お知らせ

初めての方も大歓迎です。  
ぜひご参加ください。

各支部活動への参加ご希望の方は  
事前に組合員サポート課 原田  
(☎23-8124)までご連絡下さい。

## 健康太極拳

毎月第2・4水曜日 14:00~15:30  
会場…秩父生協病院1階

## 燃やせ体脂肪教室

※事前にご連絡ください。  
参加費…無料

## 影森教室

毎週火曜日 13:30~15:00  
会場…秩父スポーツ健康センター

## 自彊術

(じきょうじゆつ)  
毎月第2・4金曜日 18:00~  
会場…原谷公民館  
参加費…月1,000円

## 皆野教室

毎月第2・4木曜日 9:30~  
会場…皆野町柔剣道場

## 長瀬教室

毎月第3木曜日 13:30~  
会場…長瀬中央公民館

## 笑いヨガ

毎週土曜日 8:00~  
会場…ミュージックパーク噴水広場

無料法律相談：15時~

7/2(水) 秩父民商事務所にて(☎23-8154)

※希望の方は電話にてお申込みください。

## 6月の診療体制のご案内 急きよ変更になる場合があります。【 】内は専門

診療受付時間		月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	内科	山田 昌樹 (院長)	吉野 隆之 *2 毎週 11時~ もの忘れ外来 「予約制」	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)	山田 昌樹 (院長)	*1 7日:村岡・担当医 14日:吉野・担当医 21日:村岡・担当医 28日:吉野・担当医 *院長・吉野・村岡 医師は、総合診療 内科医です。
		村岡 雷太	市川 篤 【呼吸器】	村岡 雷太	中林 公正 【腎・リウマチ】	村岡 雷太	
		市川 篤 【呼吸器】 (9日)	野口 周一 【リハビリ】 (3日・17日)		吉野 隆之	市川 篤 【呼吸器】	
(木:小児科) 9:30~12:00	小児科			藤田 映輝		山田 昌樹 (院長)	*2 土曜日の医師体制は輪 番制のため、急遽変更 となる場合があります。 予めご了承ください。
胃カメラ							
午後(火のみ) 14:30~16:30	小児科・ 冷え性外来		横井 範子				*3 土曜日の忘れ外来は毎週火 曜日 11時の予約枠を ご用意しています。「も の忘れ」が心配な場 合はまずはお電話でご 相談ください。
午後	*3 訪問診療	市川 篤 (9日)	市川 篤			市川 篤	
夜間 17:00~18:30	内科		村岡 雷太	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)		*3 通院が困難な方に対し ては医師が計画的にお 宅へ伺う在宅訪問診療 を実施しています。

※横井医師の漢方による冷え性外来を行なっています。ご希望の方は☎23-1300までお電話ください。

訪問診療も行なっています。 検査結果や薬の名前など用意しておきましょう。

※夜間・休日で受診やご相談がある場合はご連絡下さい。

※検査等できない場合は、他の医療機関に紹介させていただくこともございます。

入院時の差額ベッド代は  
いただいております。

ご自宅までお迎えに伺う個別送迎を行っています。

利用を希望される方は、まずは受付までお電話ください。☎23-1300



医療、福祉にかかわらず、「困りごと」がありましたら、まずはお気軽に  
窓口へご相談下さい。 ※当院は無料低額診療事業を行なっております。

# しあわせ

発行 秩父生協病院 広報委員会

2025年  
6月号  
No.370



国際協同組合年  
協同組合はよりよい世界を築きます

医療生協さいたま 秩父生協病院 〒368-0016 埼玉県秩父市阿保町1-11 ☎0494-23-1300

秩父生協 地域のみなさんとともに、利用者中心の安心・安全  
病院の理念 の保健・医療・介護サービスを提供します。

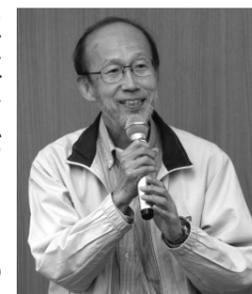
インターネットでの情報は 秩父生協病院 検索  
又は、http://www.chichibu-ch.or.jp/ です。

訪問看護・訪問介護・ケアプランなど介護のご相談は

- 生協ちちぶケアステーション  
秩父市阿保町1-11 ☎0494-22-9902
- 小規模多機能型居宅介護生協花の木ホーム  
秩父市上町1-12-11 ☎0494-25-2000

## 70周年企画第2弾 公開講座を開催しました

5月に、秩父生協病院70周年企画の第二弾として、医療生協さいたま生活協同組合理事長の雪田慎二医師を講師に『認知症は怖くない ~人生100年時代と認知症~』と題して学習講演会を開催しました。当日は、けやきフォーラムの会議室に150名を超える参加者が集まり、用意した席が全て埋まる盛況ぶりとなりました。



講演の前段では、認知症がありながらも一人での生活を継続出来ている事例が紹介され、過剰に恐れないこと、本当に対応が必要な症状を見極めること、生きがいや張り合いといった大切にすべきことを見失わないこと…など、認知症とともに生きていくために知っておくべきことについて学びました。後段では、高齢期も生き生きと暮らしていくために心がけることとして、社会参加の大切さが説かれました。仲間とともに運動をしている人の要介護認定率の低さ、役割を持って社会参加するとうつになりにくくなる…などのデータが紹介され、医療生協の日頃の健康づくり、つながりづくりのとりくみは、健康寿命を延ばし、介護予防や認知症予防にもなる優れたとりくみであるのだと感じました。質疑応答の時間は多めにりましたが、それでも時間が足りなくなるくらいに次々と具体的な質問が出され、関心の高さを実感しました。



秩父生協病院では「住んでいるだけで健康になれるまちづくり」を究極の目標に掲げ、様々な活動にとりくんでいます。秩父地域では、県内の他地域より早いスピードで人口減少と高齢化が進んでおりますが、みんなで一緒に体を動かして、食べて、笑いながら「健康になれるまち」づくりの道を模索していきたいと思っております。(事務長 宇田川麗)

## お知らせ

- 環境ボランティア活動 病院周辺の草むしりを行います。  
日時：6月28日(土)8:30~10:00 秩父生協病院組合員サポート室集合  
※使い慣れた草刈り鎌や剪定鋏をお持ちの方はご持参下さい。  
※十分な熱中症対策をしてご参加下さい。
- フードパントリー  
日時：6月28日(土)13:00~14:00 会場：秩父生協病院1階待合室  
※必要な方に食材をお分けしています。6/20までに☎23-1300へお申し込み下さい。



## 70周年記念企画『私と秩父生協病院』①

秩父生協病院ゆかりの方に、病院への思いをお聞きする連載です。初回は、前院長である稲村充則医師に、病院が移転新築前の熊木町にあったころの様子や、初めての秩父への赴任で印象に残ったことなど語って頂きました。



70周年、おめでとうございます。

私の出身は熊谷市です。埼玉の地で地域医療を行いたいという思いから、医学部卒業と同時に埼玉民医連に就職しました。当時、青年医師は専門領域を研鑽しつつ、現場ではプライマリケア（総合診療）を担っており、埼玉全域を視野に入れ、あるべき医療の在り方について討論を重ねていました。熊谷高校には秩父地域出身者が多数通学していました。私も川口市にある埼玉協同病院で研修と診療を行いながらも、将来は熊谷や秩父で働くという気持ちを持ち続けていました。

初めて秩父生協病院に足を踏み入れたのは医師4年目頃に当直に行った時でした。夜中に浦山口に住む患者さんの臨時往診が入り、事務の方と酸素ボンベを背負って山を歩いたことは今も鮮明に覚えています。

秩父生協病院の院長は1992年から5年間担当しました。子供が高校を卒業するまで約15年間秩父に在住しました。着任1年目には埼玉県内の各医療生協が合併し、医療生協さいたまを結成するという大きな出来事もありました。秩父生協病院では外来、病棟、在宅、当直の全てをこなし、さらには埼玉協同病院と行田協立病院（当時）の外来診療も行っていました。当時から、埼玉民医連・医療生協さいたまの医師という意識を強く持って働いていました。

赴任して、一番感じたのは組合員さんや患者・家族の方のたくましさです。生協病院の歴史や秩父の地域性などがそうさせているのだらうと、心強く思いながら働かせてもらいました。秩父の奥まで出かける往診も、川口や行田とはまた違う面白さがありましたし、ダム建設地の近くに残る家のおばあさんに臨時往診し、入院してもらったこともありました。リハビリ室にあった平行棒を病棟の廊下に移動し、そこで患者さんのリハビリを行ったことも覚えています。

秩父では依頼されて死亡患者の検死を行うことも多く、秩父地域で働く医師としての責任と役割を自覚しました。病棟で困った時には電話で市内の専門の先生に相談し直接来ていただき診察の上、指導していただくこともあり、秩父地域の医師会の先生方の支えを、いつも感じながら働いておりました。秩父市内で対応できない患者さんは、深谷日赤や山を越えて埼玉医大まで救急車に同乗して搬送したこともよくありました。

秩父といえば12月の秩父夜祭が有名ですが、残念ながら、当日は急患対応の当番医の役割がありました。東京から屋台を引きに来た法被姿の女性が急性アルコール中毒で救急搬送されてきて対応したことが強く記憶に残っています。そんな中でも、自治会の役が回ってきて柳田地域の屋台の引き回しに藍染袴を着て参加できたことは、素晴らしい思い出になっています。秩父から戻った後も子供や孫を連れて何度も夜祭を見に行っています。（稲村 充則）

## 病院機能評価の認定を受けました

秩父生協病院は、日本医療機能評価機構の審査を受け、病院機能評価認定病院となりました。

実際に審査を受けたのは今年の12月。病院の医療の質や管理運営の体制などについて幅広く審査されるので、準備はとても大変でしたが、審査に向けて徐々に職員の意識も変わっていき、業務整備も進み、様々な改善を重ねて審査に臨むことができました。

病院機能評価の認定は、一度受けたら終わりではなく、5年ごとに更新審査を受けなくてはなりません。質の向上と業務の改善を進め続け、5年後の審査の際には改善した姿を見せることが求められています。たゆまぬ努力を重ねていきたいと思っております。（事務長 宇田川麗）



## 生協病院ごはん

生協病院で提供している四季折々の食事と、メニューのうちの一品のレシピをご紹介します。

### ◆春の献立◆

- 野菜ピラフ      ○コロッケ      ○ミモザサラダ
- えのきのスープ      ○いちごプリン

アンケートでリクエストの多かった“揚げ物”を取り入れ、春らしさを感じる彩りの献立にしました。



### ブロッコリーのミモザサラダ

〈材料 1人分〉

- ブロッコリー 1/6 株      卵 1/4 個
- マヨネーズ 小さじ 1/8      酢 小さじ 1
- 塩 少々 (0.3g)      植物油 小さじ 1/2

〈作り方〉

- ①ブロッコリーは小房に分け、1分ほど茹でてザルにあげ、粗熱をとっておく。
- ②卵は7分ほど茹でて、殻をむき、フォークなどで細かく潰して、マヨネーズとあえておく。
- ③酢、塩、植物油を混ぜ合わせ、ブロッコリーと和える。
- ④器に盛り付け、卵をのせる。

\*卵はマヨネーズと和えることで、しっとりして食べやすくなります。



## フードパントリー食材提供のお願い

毎月第4土曜日に開催されるフードパントリーで提供するための食材を集めています。

現在、希望の方にお渡し出来る食材の在庫が少なくなっており、みなさまからのご提供をお待ちしています。

賞味期限まで3ヶ月程度ある、未開封で常温保存可能なものをお願いします。

提供いただける方は、秩父生協病院1階受付へお持ちください。



## 職員募集

**調理員** ※食材の下ごしらえや盛り付けなどの仕事。資格は不要です。

雇用形態：非常勤職員  
給与：時給 1078 円～  
勤務時間：5：30～14：00 ※応相談  
勤務日数：週2～4日 ※応相談  
年齢：60歳くらいまでの方



**看護補助** ※病棟のベッド柵等の拭き掃除などの仕事。資格は不要です

雇用形態：非常勤職員  
給与：時給 1078 円～  
勤務時間：1日2～3時間程度 ※時間帯は応相談  
勤務日数：週2～4日 ※応相談  
年齢：60歳くらいまでの方

**運転手** ※通所利用者の送迎、患者送迎の仕事。

雇用形態：非常勤職員  
給与：時給 1078 円～  
勤務時間：①8：30～13：00 ②8：15～10：00 15：15～17：00 ③8：15～17：00 ※時間帯は応相談  
勤務日数：週2～4日 ※応相談  
年齢：65歳くらいまでの方